

平成30(2018)年度「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業 地域日本語教育スタートアッププログラム 報告書

団体名 熊本市国際交流振興事業団 (都道府県:熊本県)

1. 当該地域の情報 (2018年10月末)

地域の課題	2016年の熊本地震時、外国人住民は、言葉や文化・習慣の違い、日本人住民との希薄な近所関係から多くの課題を抱えました。2018年3月に策定された熊本市国際戦略は、「暮らしている外国人住民の立場から見ると、言語や文化・習慣の違いより、医療・福祉・防災、教育など様々な分野で問題を抱えたり、日本人住民との意思疎通が十分にできず居住や生活でトラブルや不便が生じる不安がある。」と多文化共生社会を推進する上での課題を挙げました。また、熊本地震の復興現場や高齢化が進む農業分野を支える外国人技能実習生の受け入れ拡大が顕著になっています。このようなことから、本市で生活、活動する外国人住民への日本語教育など多文化共生社会構築へ対応する総合的な支援を行うことで、日本人・外国人住民の支え合う関係づくりが求められています。
在住外国人数 外国人比率	5,829人(総人口733,857人) 0.8%
在留外国人の 状況	【主な国籍】 中国、ベトナム、フィリピン、韓国、ネパール、インドネシア、アメリカ、台湾、タイ、バングラデシュ 【在留資格】 永住者、留学、技能実習1号口、技術・人文知識・国際業務、家族滞在、技能実習2号口、日本人の配偶者等、特別永住者、定住者、技能 【滞在年数・在留期間などの状況】 永住者と共に、留学、技能実習を目的に中長期滞在する在留外国人が増加している。
在住外国人の 日本語教育の現状	熊本市は5区に分かれているが、中央区には上記外国人数の約半数の2,709人が在住し、国際交流会館で火曜、水曜、日曜にボランティアによる日本語教育活動や来日したばかりの外国人への初級日本語集中講座が開催されている。また、600名近くの留学生が在籍している熊本大学でも日本語講座が開講されている。北区は、外国人を多く雇用している企業がある菊池郡菊陽町と隣接し、毎週火曜日に地域日本語教室が開講されている。東区では本スタートアッププログラムを活用し、2017年6月より日本語教室が開講されている。西区には技能実習生が多く働く市場があり、同プログラムを活用し、2019年3月より日本語教室が開講される。南区には、日本語教室がなく、学習希望者は中央区の国際交流会館まで日本語教育のため通っている状況である。

2. 事業の内容

本プログラム取組年数	3年目
事業の目的	2017年6月に熊本市東区で立ち上げた「東区くらしのほんごくらぶ」の継続運営及び熊本市西区での新しい日本語教室の開講。いずれの教室も、地域の多文化共生社会の拠点となることを目指す。
事業の概要	【東区くらしのほんごくらぶ】 ・教室を自立して継続させるシステム整備。(運営主体をサポートへ移行する。) ・教室を月に2回継続して実施。外国人参加者を増やすための取り組み。地域とのつながり作り。(地域のお祭りへの参加、防災訓練の実施等) ・多文化共生社会への貢献度などの評価及び課題設定→解決策の検討。 【西区くらしのほんごくらぶ】 ・教室開設に向けたニーズ調査、状況調査。 ・開設すべき教室の目標、開設場所などの検討→市や公民館との連携(体制整備) ・日本語交流サポーターの募集→オリエンテーション→養成講座の実施 ・外国人参加者を募集。(広報の方法を検討) ・教室の開講
事業の対象期間	2018年4月～2019年3月
前年度の実績 (2年目以降の 団体のみ記載)	【東区くらしのほんごくらぶ】 ・教室の継続、およびサポーター主体の教室運営移行への準備 ・サポーターへのフォローアップ研修の開催 【西区くらしのほんごくらぶ】 ・モデルとする他地域の日本語教室視察 ・日本語教室の開講場所の検討→市(国際課、西区役所)、田崎市場会館、技能実習生を受け入れている企業との打ち合わせ、連携→田崎市場会館との調整(使用料免除となった) ・日本語交流サポーターの募集→説明会(オリエンテーション)→養成講座の実施。 ・新教室を開始。→教室内で、月2回の教室活動及び文化体験、交流会などを実施。

担当コーディネーター	氏名	所属	職名	担当する役割
	馬場 良二	熊本県立大学	教授	テキスト開発・調査への助言
	道本 ゆう子	熊本県立大学大学院	大学院生	教室方向性・運営のコーディネート
	定永 祐子	熊本大学	日本語教師	ブレ教材の開発・運営のコーディネート
	泉 千草		日本語教師	サポーター養成・運営コーディネート
	高濱 左衛子			西区教室運営コーディネート
	渡邊 広子			西区教室運営コーディネート
	田辺 寿一郎	熊本大学	特任助教	プログラム評価・分析
	村上 百合香	熊本市国際交流振興事業団	嘱託職員(多文化共生担当)	全体調整
担当アドバイザー	氏名	所属	職名	継続・新規の別
	土井 佳彦	多文化共生リソースセンター東海	代表理事	継続(3年目)
	仙田 武司	しまね国際センター	多文化共生推進課長	新規(1年目)

3. 日本語教室の設置に向けた検討体制

(1) 地域における日本語教育の実施に向けた検討体制

検討体制	<p>熊本市では、政策局国際課が所管し、熊本市国際戦略を平成30年3月に策定し、目指す国際都市の姿として次のビジョンを掲げている。</p> <p>「世界が認める『上質な生活都市』の実現」 この基本的取組の方向として、次の2点を掲げている。 地域国際化の推進 ①誰もが住みやすい、活動しやすいまちになるための異文化理解の促進や多文化共生に対する意識の醸成 ②誰もが住みやすい、訪れやすい、活動しやすいまちになるための外国人に対する支援</p> <p>この具体的な事業として、「地域日本語教室の設置」が記載されている。これに伴い、市の国際課と日本語教育の体制整備に関する検討会議を行った。</p>		
	所属(担当課)	担当者名	職名
	熊本市政策局国際課	原田 彰子	主査
	熊本市国際交流振興事業団	村上百合香	

(2) 日本語教室の実施に向けた事業運営体制図

地域の機関・団体との連携体制																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>日本語の専門家による教室</th> <th>地域日本語教室</th> <th>地域日本語教室の支援者</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央区</td> <td>初級日本語集中講座</td> <td>くらしのにはんこくらぶ</td> <td>生活日本語支援ボランティア</td> <td></td> </tr> <tr> <td>北区</td> <td></td> <td>武蔵ヶ丘日本語教室</td> <td>生活日本語支援ボランティア</td> <td></td> </tr> <tr> <td>東区</td> <td></td> <td>東区くらしのにはんこくらぶ</td> <td>日本語交流サポーター</td> <td>H29年～月2回実施</td> </tr> <tr> <td>西区</td> <td></td> <td>西区くらしのにはんこくらぶ(仮称)</td> <td></td> <td>H31年～開催予定</td> </tr> <tr> <td>南区</td> <td></td> <td>未実施</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>平成30年度実施予定</p>					日本語の専門家による教室	地域日本語教室	地域日本語教室の支援者	備考	中央区	初級日本語集中講座	くらしのにはんこくらぶ	生活日本語支援ボランティア		北区		武蔵ヶ丘日本語教室	生活日本語支援ボランティア		東区		東区くらしのにはんこくらぶ	日本語交流サポーター	H29年～月2回実施	西区		西区くらしのにはんこくらぶ(仮称)		H31年～開催予定	南区		未実施	
	日本語の専門家による教室	地域日本語教室	地域日本語教室の支援者	備考																													
中央区	初級日本語集中講座	くらしのにはんこくらぶ	生活日本語支援ボランティア																														
北区		武蔵ヶ丘日本語教室	生活日本語支援ボランティア																														
東区		東区くらしのにはんこくらぶ	日本語交流サポーター	H29年～月2回実施																													
西区		西区くらしのにはんこくらぶ(仮称)		H31年～開催予定																													
南区		未実施																															
組織・団体・機関名	担当部局	職名	担当者名																														
熊本市国際交流振興事業団	事務局	事務局長	八木浩光																														
	事務局	事務局次長	勝谷知美																														
	事務局	企画チーム主査	白石昌隆																														
	事務局	企画チーム囑託	村上百合香																														
熊本市	政策局国際課	主査	原田彰子																														
熊本県立大学	日本語教育研究室	教授	馬場良二																														
熊本地方卸売市場協同組合連合会		事務局長	上田英典																														
熊本市西区役所	総務企画課 地域班	主査	野口信太郎																														
熊本市西区役所	西部まちづくりセンター(地域担当)	参事	林慶司																														

4. 具体的な取組内容

(1) 年間を通じた取組内容

年月	主な取組内容	コーディネーターの主な活動	アドバイザーの来訪
2018年 4月	<ul style="list-style-type: none"> ・東区くらしのにほんごくらぶ日本語交流サポーターフォローアップ研修 ・東区くらしのにほんごくらぶ実施(2回) ・西区くらしのにほんごくらぶ開設に向けた会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・東区教室の継続とサポーター主体の教室運営移行のためのコーディネート(年間をとおして) ・日本語交流サポーターフォローアップ研修講師(サポーターへの指導) ・西区教室の開設準備開始 	★年間事業計画の検討
2018年 5月	<ul style="list-style-type: none"> ・東区くらしのにほんごくらぶ実施(2回) ・西区くらしのにほんごくらぶ開催場所や準備に関する検討会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・西区教室の開催場所検討 ・西区ニーズ調査、状況把握等 	
2018年 6月	<ul style="list-style-type: none"> ・東区くらしのにほんごくらぶ実施(2回) ・熊本市にある既存の日本語教室の視察(西区くらしのにほんごくらぶ立ち上げ準備) 	<ul style="list-style-type: none"> ・西区役所担当者との打ち合わせ ・日本語教室視察→新設する西区の教室の開催方法等について検討 	★新教室の方向性の検討及びサポーター主体での運営についてのアドバイス
2018年 7月	<ul style="list-style-type: none"> ・東区くらしのにほんごくらぶ実施(2回) ・西区くらしのにほんごくらぶ開催に向けた会議 		
2018年 8月	<ul style="list-style-type: none"> ・東区くらしのにほんごくらぶ実施(2回) 		
2018年 9月	<ul style="list-style-type: none"> ・東区くらしのにほんごくらぶ実施(2回) 		
2018年 10月	<ul style="list-style-type: none"> ・東区くらしのにほんごくらぶ実施(2回) ・日本語交流サポーター研修会の実施 ・福岡市大野城市の日本語教室の視察 	<ul style="list-style-type: none"> ・田崎市場会館との打ち合わせ(会場検討) 	
2018年 11月	<ul style="list-style-type: none"> ・東区くらしのにほんごくらぶ実施(2回) ・会場の借用や外国人参加者の募集に関して、関係各所への協力依頼。(関係づくり) 	<ul style="list-style-type: none"> ・西区教室サポーター養成研修会の準備 	
2018年 12月	<ul style="list-style-type: none"> ・東区くらしのにほんごくらぶ実施(2回) ・西区日本語交流サポーター募集(市政だより、チラシ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・田崎市場にある技能実習生を受け入れている企業の打ち合わせ ・西区サポーター募集の広報依頼 	
2019年 1月	<ul style="list-style-type: none"> ・東区くらしのにほんごくらぶ実施(2回) ・西区日本語交流サポーター募集説明会開催 ・西区日本語交流サポーター養成講座実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語交流サポーター募集説明会の運営 ・西区サポーター養成講座の運営 	
2019年 2月	<ul style="list-style-type: none"> ・東区くらしのにほんごくらぶ実施(2回) ・西区日本語交流サポーター養成講座実施(計3回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・西区サポーター養成講座の運営 ・西区くらしのにほんごくらぶ外国人への広報依頼(地域の日本人への周知) 	★3年間の振り返りと今後についてのアドバイス
2019年 3月	<ul style="list-style-type: none"> ・東区くらしのにほんごくらぶ実施(1回) ・西区くらしのにほんごくらぶ開設 	<ul style="list-style-type: none"> ・西区くらしのにほんごくらぶ運営コーディネート及びサポーターへのアドバイス 	

(2) 立ち上げた日本語教室の詳細

教室の名称	東区くらしのほんごくらぶ ・ 西区くらしのほんごくらぶ		
外国人参加者について	【東区】〔国籍〕中国、韓国、イランなど 〔属性〕留学生など 【西区】〔国籍〕ベトナム6名、タイ3名、フィリピン2名 〔属性〕技能実習生が主な対象	参加者数 (内 外国人数)	【東区】10人(4人) 【西区】35人(11人)
開催時間数	【東区】総時間33時間 【西区】総時間1.5時間	【東区】 1.5時間 × 22回 【西区】 1.5時間 × 1回	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人住民が、日本語を通して日本の文化や習慣、ルール等について学び、日本語を学ぶとともに、日本での生活をより良いものにする。 ・同じ地域に住む外国人住民と日本人住民の交流の場を提供し、日頃からつながりを作っておくことで災害に強い地域社会の構築を目指す。 		

実施内容(2018年4月 ~ 2019年3月20日)

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	内容	授業概要	支援者数
1	2018年4月15日(日) 10:00~11:30	1.5	東部公民館	3	対話活動	・自己紹介 ・今年度のピック選び、イベントの企画	コーディネーター 4名 サポーター6名
2	2018年5月6日(日) 10:00~11:30	1.5	東部公民館	1	対話活動	・おしゃべり活動: テーマ「趣味、好きなことについて」	コーディネーター 2名 サポーター8名
3	2018年5月20日(日) 10:00~11:30	1.5	東部公民館	1	対話活動	・おしゃべり活動: テーマ「故郷の国、町の紹介」 写真やイラストで各国の有名なものや特産品などを紹介し合った。	コーディネーター 1名 サポーター7名
4	2018年6月3日(日) 10:00~11:30	1.5	東部公民館	5	体験活動	・イベント「日本の遊び」 こま、けん玉、花札、かるた、おはじきなど日本の遊びを通して交流を深めた。	コーディネーター 2名 サポーター6名
5	2018年6月17日(日) 10:00~11:30	1.5	東部公民館	2	対話活動	・おしゃべり活動: テーマ「ご近所マナー」 日本で生活する上で知っておくべきルールやマナーについて。	コーディネーター 3名 サポーター7名
6	2018年7月1日(日) 10:00~11:30	1.5	東部公民館	7	体験活動	・イベント「七夕体験」 七夕の飾りや短冊を作り、近くの商店街の七夕祭りを訪問した。	コーディネーター 2名 サポーター3名
7	2018年7月15日(日) 10:00~11:30	1.5	東部公民館	3	対話活動	・おしゃべり活動: テーマ「好きなことば、ことわざ」 名言、格言、恩師のことばなど、笑顔になれることばや似ていることばなどを学び合った。	コーディネーター 2名 サポーター6名
8	2018年8月5日(日) 10:00~11:30	1.5	東部公民館	3	対話活動	・おしゃべり活動: テーマ「旅の思い出」 日本での旅行、海外旅行など、写真やパンフレットを見せながら、会話を楽しんだ。	コーディネーター 1名 サポーター5名
9	2018年8月19日(日) 10:00~11:30	1.5	東部公民館	2	対話活動	・おしゃべり活動: テーマ「日本(外国)で驚いたこと」 自分の国と違うところ、びっくりしたところから異文化を学ぶ。	コーディネーター 3名 サポーター4名
10	2018年9月2日(日) 10:00~11:30	1.5	東部公民館	7	体験活動	・イベント「防災センター見学」 熊本市の防災センターを訪問、地震、台風、火災の体験学習をおこなった。	コーディネーター 3名 サポーター2名
11	2018年9月16日(日) 10:00~11:30	1.5	東部公民館	1	対話活動	・おしゃべり活動: テーマ「いろいろなことば」 熊本の方言や、外国人参加者の母国語について紹介し合った。	コーディネーター 2名 サポーター6名
12	2018年10月7日(日) 10:00~11:30	1.5	東部公民館	3	体験活動	・イベント「日本文化体験」 着物を着て、お茶体験、熊本城付近を散策。	コーディネーター 2名 サポーター4名
13	2018年10月21日(日) 10:00~11:30	1.5	東部公民館	3	対話活動	・おしゃべり活動: テーマ「故郷のおいしいもの」 各国の名物料理やお菓子、おすすめの食べ物について紹介。	コーディネーター 2名 サポーター8名
14	2018年11月4日(日) 10:00~11:30	1.5	東部公民館	6	体験活動	・イベント「動植物園へ行こう！」 熊本市動植物園に行き、交流を楽しんだ。	コーディネーター 1名 サポーター6名
15	2018年11月18日(日) 10:00~11:30	1.5	東部公民館	5	対話活動	・おしゃべり活動: テーマ「病気になったら」 日本の病院や保険のシステムについて説明、外国人参加者の分からないことをサポーターが説明。	コーディネーター 2名 サポーター2名
16	2018年12月2日(日) 10:00~11:30	1.5	東部公民館	3	体験活動	・イベント「年末交流会」 参加者に韓国料理を教えもらい、みんなで料理を作って交流を深めた。持ち寄りパーティーも開催。	コーディネーター 1名 サポーター8名

17	2018年12月16日(日) 10:00~11:30	1.5	東部公民館	2	対話活動	・おしゃべり活動: テーマ「12月と1月の過ごし方」 年末年始の行事や慣習について紹介。	コーディネーター 3名 サポーター3名
18	2019年1月6日(日) 10:00~11:30	1.5	東部公民館	5	体験活動	・イベント「初詣に行こう！」 初詣について学び、実際に近くの神社にみんなでお参りに行った。	コーディネーター 1名 サポーター5名
19	2019年1月20日(日) 10:00~11:30	1.5	東部公民館	2	対話活動	・おしゃべり活動: テーマ「私の大事な人」 家族、恋人、同僚、先生などについて紹介。	コーディネーター 2名 サポーター3名
20	2019年2月3日(日) 10:00~11:30	1.5	東部公民館	5	対話活動	・おしゃべり活動: テーマ「元気？元気！」 元気で過ごすために気を付けていることなどを教え合った。サポーターの指導のもと、笑いヨガ体験も。	コーディネーター 3名 サポーター6名
21	2019年2月17日(日) 10:00~11:30	1.5	東部公民館	1	体験活動	・イベント「ゲーム大会」 日本のゲーム、海外のゲームで楽しんだ。	コーディネーター 3名 サポーター4名
22	2019年3月17日(日) 10:00~11:30	1.5	東部公民館	5	対話活動	・おしゃべり活動: テーマ「映画、本、音楽は好きですか？」 おすすめの映画やドラマ、好きな作家やアーティストについて紹介。	コーディネーター 3名 サポーター4名
23	2019年3月9日(土) 13:30~15:00	1.5	田崎市場 市場会館	11	対話活動	・グループごとに自己紹介→全体で発表 ・次回からの活動内容の検討、話し合い。	コーディネーター 3名 サポーター24名

【主な活動】



2018年9月2日(日)
熊本市防災センター見学
地震から身を守るための体験学習の様子



2018年10月7日(日)
日本文化体験
着物の着付け、お茶体験



2018年10月21日
「故郷の美味しいもの」
写真やイラストを見せながら会話を楽しむ参加者

(3)その他関連する取組

取組名称	実施期間	内容
日本語交流サポーター養成講座	①2019年1月26日(土) ②2019年2月2日(土) ③2019年2月9日(土)	新設する西区くらしのほんごくらぶで活動してもらう日本語交流サポーターを養成した。参加者には、今後日本語教室で活動するにあたり、在住外国人の状況やサポーターとしての心構えなどを学んでもらった。 【内容】(全3回、1回2時間) 第1回 多文化共生のまちづくりと地域日本語教室(担当:KIF八木事務局長、村上、渡邊コーディネーター) 第2回 「やさしい日本語」(担当:土井アドバイザー) 第3回 「異文化理解」(担当:田辺アドバイザー)

【主な活動】



日本語交流サポーター養成講座の様子

5. 今年度事業全体について

進捗状況	<p>【東区】東区くらしのほんごくらぶを毎月2回(第1, 3日曜日)開催、サポーター主体の教室へ移行</p> <p>【西区】サポーター募集、養成研修会(3回)を経て、3月9日に西区くらしのほんごくらぶを開設、平成31年度はコーディネーターが継続して教室運営をサポート</p>
成果	<p>東区くらしのほんごくらぶの活動を通して、サポーターの異文化理解が促進された。また、地域日本語教室を地域住民が主体的に運営していく体制ができた実績で、日本語教室が地域の多文化共生社会の拠点となりうる事が証明できました。日本語教育空白地域であった西区と南区のうち、西区においては技能実習生が多い状況に合わせた日本語教室が開設できたことで地域の多文化共生施策が推進されました。今後南区での日本語教室開設をめざすことになるが、各地域性を踏まえた日本語教室開設に向けたコーディネーター、サポーターとのつながりにより、多文化共生社会の拠点となる日本語教室活動を広げていきたいと考える。</p>
地域の関係者との連携による効果	<p>西区の教室(西区くらしのほんごくらぶ)の開設にあたって、技能実習生が多く活動する田崎市場内の企業の組合である市場会館と連携を図ることで、各関係企業の技能実習生へ効果的な教室への参加案内ができました。また、彼らが活動している身近な会場を無償で使用できたことは大きな効果となりました。</p>
コーディネーターの主な活動	<p>①ニーズの調査(10H)</p> <p>②体制整備のための調整(25H)</p> <p>③人材育成のための調整(50H)</p> <p>④日本語教室開設及び運営のための調整(70H)</p> <p>⑤教材作成に向けた調整(35H)</p>
アドバイザーの主な助言	<p>【教室運営で大切なこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室の目標を明確にすること ・その目標に向けて、実施主体、コーディネーター、サポーターが共通認識を持つこと ・教室の目的を外国人学習者に明確に伝える(学習者の目的とのミスマッチを防ぐ) ・日本語教室の存在自体が重要、継続することに大きな意味がある。 ・日本語学習は手段であって、最終目標は多文化共生社会をつくること。 ・スタートアッププログラムの終了は、さらなる多文化共生社会推進、日本語教育活動の始まりである。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人参加者の教室参加の定着が依然として課題である。参加人数が少ない。外国人増加に伴う教室の広報 ・外国人住民が散在している状況へで日本語教育へのアクセス(教室の拡充、スマホを活用した学習)など。 ・教室コーディネーターの配置、人材や人件費の確保、日本語教育事業全体の体制整備。 ・日本人、外国人住民の支え合う関係づくりの拠点となる日本語教室を広げていくための行政や自治会との連携強化
今後の予定	<p>引き続き、月2回(第1, 3日曜日午前)、東区くらしのほんごくらぶをサポーター主体で継続開催する。4月の第1回目に年間の日本語交流活動のトピックスを決定する話し合いを行う。実施主体である事業団は、2ヶ月に1回程度、活動を訪問して、状況を確認したり、課題があればアドバイスしたり、フォローする。</p> <p>【西区】</p> <p>日本語交流活動が2019年3月9日に開始された。月2回(第2, 4土曜日午後)の活動を実施する。活動を円滑に進めるため、引き続きコーディネーターに教室運営をフォローしてもらおう。1年後は、東区と同様にサポーター主体の活動に移行する計画です。</p> <p>西区の日本語教室開始で、唯一日本語教育空白地となる南区での外国人住民の状況の調査し、日本語教室の開設を検討する。(2020年、前半の開設をめざす。)</p> <p>その他、中央区の国際交流会館での日本語教育事業では、日本語専門家による日本語の基礎を集中的に学ぶ日本語初級集中講座、ボランティアによる日本語支援活動であるくらしのほんごくらぶに加えて、最近、外国人住民から要望が多い日本語能力試験へ対応した教室を開設する。さらに、多様な外国人住民の生活支援の一環として日本語教室の開設を自治会などと連携して広げていく。</p>

本件担当 : 一般財団法人熊本市国際交流振興事業団 企画チーム